

お客さまとチームワーク



“装いのチカラ”で
もっと自分らしく

人生を輝かせる方法を
伝えたい

みなみ佳菜さん

(みなみ・かな)

1972年香川県出身。大学卒業後、外商系アパレルブランド3社で販売、マネジャーの経験を経て、2008年にファッションレスキュー入社。政近準子氏の指導を仰ぎ、10年に独立。著書に『4つの性格タイプから見つける 1つの間にか人生が変わる服』。

予約の取れないパーソナルスタイリストとして、働く女性のクローゼットを訪ねる日々を送る、みなみ佳菜さん。服に注ぐ情熱の原点は自身の「失敗経験」にあったそうです。

女優やモデルが「カメラに映るための一瞬の美しさ」ではなく、普通に働く人々が毎日活かせる「ずっと持続する自分らしい輝き」を提案するパーソナルスタイリスト、みなみ佳菜さん。幼少期から一服一枚で人生は変えられる」という実感を持ち、大学卒業後は米カジュアルブランド「Eddie Bauer Japan」に入社した。

人が好きでとことん尽くす情熱がすぐに数字に表れて、個人販売成績全国首位を獲得、最年少店長に。ヘッドハンティングで、米ラグジュアリーブランドの日本国内の小売りをすべて見る責任者に抜擢された。しかし、このとき、みなみさんは大きな「失敗」を経験したのだとか。

「急に47人の部下ができて、身構えたのだと思います。『なめられたらいけない』と、強いリーダーシップを放つブラックスーツを着るようになりました」

縮まらない部下との距離。ふと、「私らしい服ではなかった」と気づいたという。「私が本来得意とするのは、相手の気持ちに共感しながら一緒に問題解決をしていくリーダーシップ。それなら、柔らかさを表現する服を着よう。結果を出せばいいのだから」と発想を変えた。リーダーシップにも「見守る」「元気づける」など、さまざまなタイプがある。自分に合うタイプでやっていけばいい。黒いジャケットを脱ぐと、部下とのコミュニケーションが180度変わった。「服は内面の一番外側。自分らしい装いが、強みの発揮や自己実現につながる」と実感した出来事だった。

「装いのチカラ」が後押しとなって昇進、さらなる要職への転職も遂げたみなみさん。そんななか、「現場でお客さまに直接触れながら役に立ちたい」という思いが徐々に募っていったそう。2008年、パーソナルスタイリングの第一人者、政近準子氏の門を叩き、2年後に政近氏の会社に入社。パーソナルスタイリストとして独立後は瞬く間に人気を集め、いま予約待ちの状況。日本ではまだ珍しい個人向けスタイリングの事業にもかかわらず高いリピート率を誇るのには、徹底した顧客主義の姿勢によるもの。

「カウンセリングに時間をかけて、その方の本来の性格と夢を伺っていきます。『ありたい姿』を表現できる装いを見つけて、ために日々下調べをし、白いブラウス1枚を見つけたために、都内の百貨店2〜3店舗を回ることもあります」

自分らしい装いは、「自分らしく働く」につながる。その価値を自らの経験で知っているからこそ、お客さまにもその価値を伝えたいと、休みなく走り回

る。「尽くす姿勢」こそが、みなみさんの最高のおもてなしだ。実際、みなみさんの手によって夢を引き寄せた人は数知れず。

美容関連会社にお勤めの女性には、親しみやすい信頼感を伝えるピンクページのジャケットを提案。後日、「異例の昇進が決まりました！」と笑顔の写真と共にメールがきた。

「本来の力を発揮するお手伝いできたときは、心から嬉しいですね。10年先の夢はあります。今日出会うお客さまお一人お一人に全力投球。そんな毎日がミルフィーユのように重なって、見える景色がもっと広がり、新しい道ができていく。行きたい道を自ら選び進んでいきたいですね」

L-Clock とは?

「人生を充実させたいすべての女性のための応援サイト」

さまざまなライフイベントのなかで、自分なりの選択を積み重ね、ONもOFFもHAPPYに楽しんでいる女性たちにインタビュー。人生をより豊かにするためのヒントをお届けします!

<http://www.nikkeibp.co.jp/l-clock/>

